

平成 30 年度 第1回 飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会

議 事 録

日時：平成 30 年 6 月 28 日（木）

14：15～15：30

場所：飛島村 2 階 第 3 会議室

1. 開 会

○司会

ただいまから、平成 30 年度第 1 回飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会を始めさせて頂く。

○久野会長（飛島村長）

【開会挨拶】

こんにちは。本日は、ご多用のところ、飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会にご出席賜り厚くお礼申し上げます。

格別のご指導とご鞭撻を賜っており委員の皆様には、重ねてお礼申し上げます。

昨年度は、利便性向上等について、協議をいただいた。今年も審議を継続して、多数の皆様の利用を目指すよう、議論を続けることが重要だと考えます。

皆様の専門性にご経験をもとに、忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げ、簡単ではございますが、開会のごあいさつとさせていただきます。

○事務局

資料確認

第 1 回の会議でありますので、委員の皆様を紹介させていただくのが本意ではありますが、配席表をもって代えさせていただきます。

名古屋タクシー協会専務理事の多田委員は、今回の協議会より参加頂きました。

当協議会は、協議会会議運営規定に基づき会議録を開示させていただきます。

また、定数の過半数を超える委員の出席を頂いていますので、協議会設置要綱に定める会議としての成立要件を満たしております。

2. 役員選任(資料1)

○事務局

協議会設置要綱の第 6 条に基づき、会長は村長、副会長は副村長とし、委員の互選により座長及び幹事を定めることになっております。特に、推薦等がなければ、座長については、昨年に引き続き、学識経験者の愛知工業大学の伊豆原様に継続して頂き、監事については、飛島村議会議長 井田様と 名古屋港西部臨海地帯企業連絡協議会会長 嶺木様にお願いしたいと存じます。

宜しいでしょうか。

＜委員確認＞

○事務局

ありがとうございます。

それでは、伊豆原様に座長を、井田様 嶺木様に監事をお願いいたします。会議の進行は、協議会設置要綱に基づき、座長の伊豆原様をお願いいたします。

○座長（伊豆原教授）

座長を指名いただいた伊豆原です。よろしくお願いいたします。

名港線については、高速道路の通過のため着座利用が必要です。満席に近い状況になっています。

蟹江線については、朝便を少し変更したが、すでに多くの利用があり、うれしい状況ですが、逆に満杯であり利用者数は頭打ちになりつつある。その点について、議論をする必要があります。

海南病院通院支援タクシーについても、きめ細かい議論をして、利便性を向上できるよう、検討が進められればと思う。

それでは、議事に入りますが、初めに議事録署名人を選任させていただきます。

議事録署名人については、飛島村区長会長の佐野様、三重交通の小黒委員を選任させていただきます。

よろしくお願いいたします。

限られた時間ではありますが、議論をお願いいたします。

3. 報告事項

（１）飛島公共交通バス利用実績について（資料２）

○座長（伊豆原教授）

報告事項、飛島公共交通バス利用実績について、事務局からの報告をお願いします。

○事務局説明

○座長（伊豆原教授）

ありがとうございました。利用実績の報告がありました。これについて、何かご意見、ご質問などありますか。

○平井委員代理（中部運輸局愛知運輸支局）

海南病院支援タクシーが大きく利用が増えているが、その要因は何か。

○事務局

直接的な確認はできていないが、病院から村内への増便をさせていただいたことが影響している。また、老人クラブの定例会議に、職員が出向き説明し、周知が進んだのではないと思う。

○座長（伊豆原教授）

このあと今年の検討について、関連する説明があります。利用実績について、確認させていただいたとして、次の議事に移ります。

4. 議 事

●議案第1号 平成29年度飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会 事業報告及び収支決算について

○座長（伊豆原教授）

議案第1号 平成29年度法定協議会の事業報告及び収支決算について、事務局からの報告をお願いします。

○事務局説明

○座長（伊豆原教授）

ありがとうございました。これについて、監査をしていただきました。井田様より監査報告を

○井田監査役（飛島村議会議長）

法定協議会の設置要綱10条2項より監査報告をさせていただく。

平成30年5月15日に事務局立会いのもと、収支は別表のとおりで、その計数において違算なく、収支額は符号していることを確認しました。

○座長（伊豆原教授）

監査ありがとうございました。これについて、何かご意見、ご質問などありますか。

○平井委員代理（中部運輸局愛知運輸支局）

収支について当初予算より委託料について、大きく減額している理由は何か。

○事務局

運行経費については、国からの補助金がもらえなかったことも想定して予算を立てており、その補助金収入が確定した段階で変更するので減額する。

○児玉委員代理（愛知県振興部交通対策課）

平成28年度と比べ、変動がある部分があれば教えて欲しい。傾向としてはどうなっているか。

○事務局

バス車両の減価償却が終了し、昨年度とは大きく変更なし。決算額もほぼ横ばいです。

○座長（伊豆原教授）

他にありますか。

ないようなので、29年度の事業報告、決算報告について、異議なしとしてよろしいか。

<異議なし>

○座長（伊豆原教授）

全員の了承を頂いたとして、次の議事に移ります。

●議案第2号 平成30年度検討計画（案）について

○座長（伊豆原教授）

議案第2号 平成30年度検討計画（案）について、事務局からの報告をお願いします。

○事務局説明

○座長（伊豆原教授）

ありがとうございました。過去の経緯を含めて説明をうけ、事務局の検討の考えを説明いただいた。これについて、何かご意見、ご質問などありますか。

○安田委員代理（名古屋市住宅都市局都市計画部交通企画課）

利用促進活動、自己評価活動について、利用者に対して、適切なPRができているか。例えば、若い方に対して、また、高齢者に対して、効果のある利用促進は何か、事務局の考えを教えてください。

○事務局

ふるさとフェスタでのPR、老人クラブに対する説明を考えると、海南病院通院支援タクシーは、高齢者の利用を想定しているため、老人クラブでの説明で対応できている。

バスの利用については、通勤通学者と思われるため、これらターゲットは、ふるさとフェスタは村民全体が集まるイベントであるので、一定のPRの成果はあるだろうと思っている。

○児玉委員代理（愛知県振興部交通対策課）

蟹江線は、弥富市と接続している。弥富市の交通会議において、東部ルートの見直しを検討しているとの議論があった。弥富市等と乗り継ぎなどについて、情報交換をお願いしたい。

○事務局

承知しました。今後の検討に活かしたい。

○座長（伊豆原教授）

意見として承っておきたい。

先日テレビで、弥富市から蟹江線にのって蟹江駅に移動するルートの利用が、路線バスの旅で紹介された。お互いの連携が必要だと思う。

○平井委員代理（中部運輸局愛知運輸支局）

車両の更新について、幹線系統については、国の補助対象になると思われる。購入については補助対象になるので、相談をしていただきたい。

○事務局

補助金活用についてよろしくお願いします。

○座長（伊豆原教授）

車両更新については、愛知運輸支局と調整して進めて欲しい。
他にありますか。

利用促進活動について、MMと呼んでいるが、7月の27～28日に日本モビリティマネジメント会議で、事例発表が豊田市名鉄トヨタホテルで行われる。今年は70件程度の報告があると聞く。発表も行政関係者や事業者も多い。研究者よりも多い。ユニークな取り組みもあるので、参加申し込みをしていただけたらどうか。昨年までの報告資料もホームページで確認できる。アクセスしてください。情報収集して頂くことはよいと思う。

○多田委員（名古屋タクシー協会）

今回から参加させていただいた。ありがとうございます。タクシー業界から委員として参加させていただく。確認したいことがある。

コミュニティバスの取組について21年度から始めているが、立ち上げ当時、別の立場で参加させていただいていた。それ以降の蟹江線は非常に改善されている。

名港線については、臨海部企業の通勤者なので、企業の変動がなければ、一定の利用があると思う。

路線ごとの収支については、どのような整理をされているか。確認したい。

名港線の村の負担はどうなっているか。民間でできないだろうか。収支率は、住民に知って頂くべきことだと思う。

○事務局

収支率について、路線ごとの数字は、今もっていない。全体として、0.52（52％）となっている。公的資金の投入について、議会で決算の開示を行い、住民に示している。

○久野会長（飛島村長）

名港線は、21年度以前は、臨海部の会社の相互の負担をお願いしていた。企業連絡協議会で相談され、村に要請されて運行した。車両の更新の問題もあり、コミュニティバスと合わせて事業改変を行った。

当時は、村内のコミュニティバスの実証実験も行った。住民アンケートでは利用されると聞いたが、実際の利用には結びつかなかった。1年間実験し、2年目に蟹江駅に接続する形に変更した。以降、現在の形で改善してきている。

○多田委員（名古屋タクシー協会）

名港線、蟹江線などは、なくてはならない路線であり、状況について質問させていただいた。タクシー業界としても、協力できることがあればと思う。

○座長（伊豆原教授）

蟹江線・名港線の方向性について、サービスを強化するには、事業費増を招くため、どこまで対応するか協議しないと行けない。

事業者側も人の配置も必要となるため、どこまで対応できるかを事業者との調整も必要となる。

その他意見あるか、委員から、何か提案があれば事務局までお願いします。
それでは、当該議案について承認して頂くということでよろしいか。

<特になし>

○座長（伊豆原教授）

ありがとうございました。承認頂いたとして次の議事に移ります。

●議案第3号 海南病院通院支援タクシー停留所「笹之郷（中）」の移設について

○座長（伊豆原教授）

議案第3号 海南病院通院支援タクシー停留所「笹之郷（中）」の移設について、事務局からの報告をお願いします。

○事務局説明

○座長（伊豆原教授）

ありがとうございました。移設の説明を受けました。これについて、何かご意見、ご質問などありますか。

地元の方から、移設の要請がありました。よろしいか。

了承頂いたとしてよろしいか。

<異議なし>

○座長（伊豆原教授）

ありがとうございました。予定していた議事は以上です。

せっかくの機会なので、ご意見等ありましたらお願いします。

○前田委員代理（愛知県蟹江警察署）

運転免許証の返納について状況を報告します。

愛知県の自主返納の状況ですが、飛島村の場合、65歳以上の免許保有者は928人保有。その内返納者は11人。サンプルが少ないので、どのような傾向があるのか具体的な要因はわからない。

蟹江町や弥富市では5000人、6000人の免許保有者に対して100人程度の返納がある。地域の交通環境よりも、家族構成などの条件により、自主返納できているのではないか。

海部地域は1.75%の返納率。名古屋市は2.99%の返納率であるため、人口の集中しているところの方が返納率は高い。

○座長（伊豆原教授）

免許証の自主返納は、無視できない問題です。

飛島村は、蟹江線の利用が年間14万人に対して、人口4000人。対比すると本当に多い。

蟹江線の利用の伸びを考えると、蟹江町や弥富市との関係のあり方や、多田委員の指摘された収支率の意見も考慮し、交通ネットワーク環境を確保していかないといけない。

皆さんと協議をして、良い形にしていきたい。

○児玉委員代理（愛知県振興部交通対策課）

エコモビを県民運動として進めている。推進表彰について募集しているので、推薦団体を紹介してほしい。

○座長（伊豆原教授）

エコモビは、自薦他薦問わない。是非紹介ください。

他によろしいか。進行を事務局にお返しします。

4. その他

○事務局

最後にその他として、事務局からご連絡させていただきます。

今後の会議の予定についてご説明させていただきます。議案2の最後にもお話しさせていただきましたが、次回会議は12月頃に開催させていただく予定です。

5. 閉 会

○事務局

以上で飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会を終了します。ありがとうございました。

以上